

~KENSYU~

谷地南部小学校
ICT 研修だより
2023. 10. 25
No.10 文責 伊藤

教頭先生の実践に関するアンケートより

Forms のアンケートに、複数の回答が寄せられました。お忙しい中ご協力いただいた先生方、本当にありがとうございます。以下に先生方の考えを掲載しますのでご覧になっていただき、ぜひ少しでも ICT 活用にお役立ていただければと思います。

1. 教頭先生は、今回の音楽の授業で何故タブレットを使ったのでしょうか。

- みんなが一斉にテストできるので、時間短縮になる。 • 自分の余裕がある時に評価できる。
- 待ち時間による児童間の不公平さを無くせる。 • 保護者にも実際に聞かせることができる。
- 何度もチャレンジして、一番いいのを提出できる。
- 評価する側は、いつでも提出された音源を聞いて評価できる。
- 評価する側は、何度も提出された音源を聞いて評価できる。
- 子ども側 ほぼ同じ条件で一斉にテストができる。自己評価できる。
- 数回の録音から提出するものを選択できる。
- 教師側 保存できるので、事後に評価できる。
- ICT 機器を急に活用したくなったから? • 何回も見たりして評価を適切に行うため。
- 子供たちに ICT 機器の活用をさせたかった。
- 本番となると緊張して練習の成果を発揮できないことが多いので、ロイロを使うことで、子供たちが失敗をしても、やり直してベストな練習の結果を、教頭先生に見てもらえるから?

2. みなさんなら、学校のどんな場面で使えそうですか。

- 図工の作品提出（持ち帰った後でも評価できる） • まとめる活動やプレゼン
- クラスの新聞系の活動（写真を撮って、記事に貼る） • まとめる活動にロイロ
- 音楽・体育・図工・家庭科など技能教科の評価 • 学級会・道徳にチャット など
- 課題の提出 • 自由進度学習において、学習の進捗状況の確認 • 使える場面を知りたいです

先日行かせていただいた新潟大学附属新潟小学校では、参観した4・5・6年生の授業は全てタブレット（ロイロノート使用）を、バンバン使っていました。事後のフォーラムで「附属新潟小学校の先生方は、みなさんICT活用が進んでいるのですか?」という質問があり、担当の先生は、「胸を張って使っていると言えるのは、3~4人です。でも、分からない先生は聞いて、それをみんなで支える雰囲気はあると思います。まずは、分からなくても取り入れてみると、子ども達の方が色々なことをやって、使い方を教えてくれたりもします。」とおっしゃっていました。

最近子ども達にも言うのですが、上手い下手は問いません。完璧は求めません。引き続きチャレンジしていきましょう。